

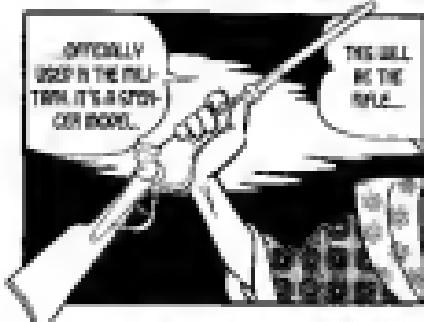
## *Chapter 56*

### The House of Love and Hate





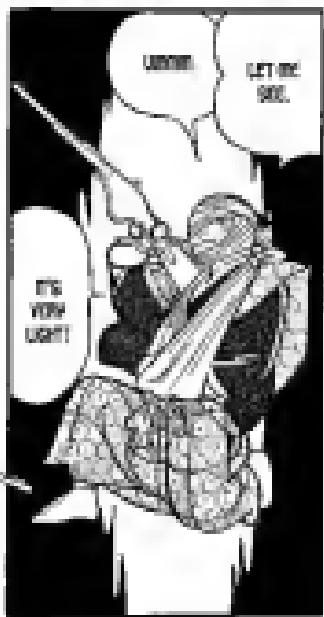
WE MIGHT GIVE YOUR PLATOON... "TESTS AT EXERCISE..." OR AS THEY SAY IN ENGLISH, IT'S A "TEST CASE..."



THIS WILL BE THE SWORD...

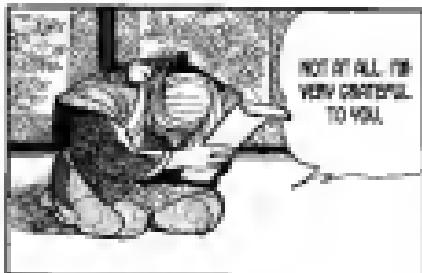


IN THESE DAYS, NO MATTER HOW MANY GO FORTH WITH SWORDS AND SPEARS...



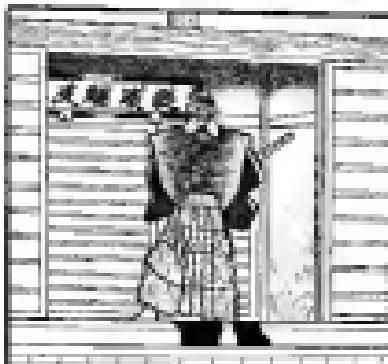
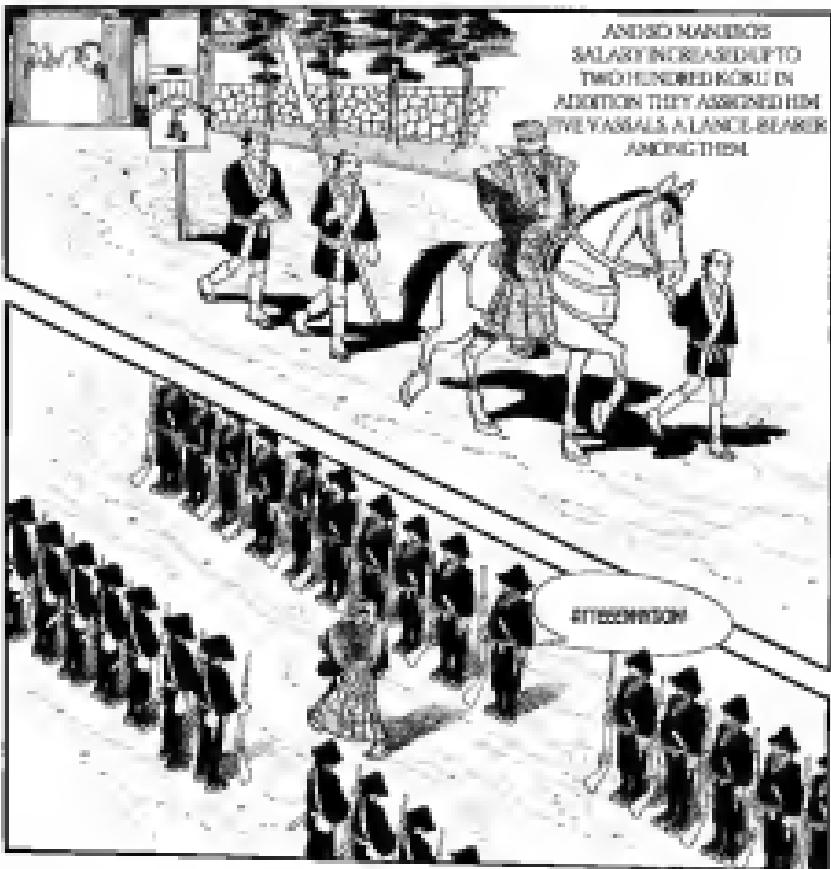
LEMON

LET ME GO.



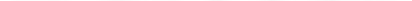
NOT AT ALL. I'M  
VERY GRATEFUL  
TO YOU.

IF YOU'RE  
UNSATISFIED  
WITH THIS,  
LET ME  
KNOW.











CHARLES WING-  
MAN WAS A  
JOURNALIST  
WHO LIVED  
IN HAGASAKI  
TO THE YOKO-  
HAMA COLONY  
IN THE FIRST  
YEAR OF  
BUNYOU.

MANY OF THEM WERE  
SOLDIERS OR INFANTRY  
SOLDIERS.



SOME OF HIS  
INFORMATIVE  
COMIC STRIPS  
WERE PUBLISHED  
IN THE YOKO-  
HAMA JOURNAL,  
AND OTHERS  
WERE SENT TO HIS  
COUNTRY.



IT IS POSSIBLE HE  
PUBLISHED  
HIS STORIES WHEREVER  
HE WENT, BUT THE  
SKETCHES  
ARE ALL  
DRAWN IN  
WESTERN  
ART-STYLE  
MANUFACTURED  
PARTICULARLY  
STYLIZED



Japan and p. 200  
1869.

of soldiers Japanese  
A band is playing a Quick March.

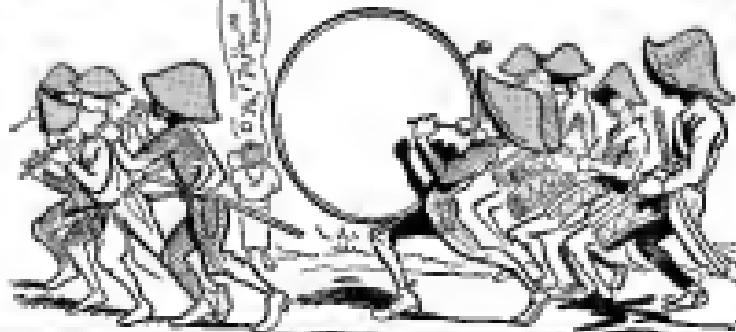
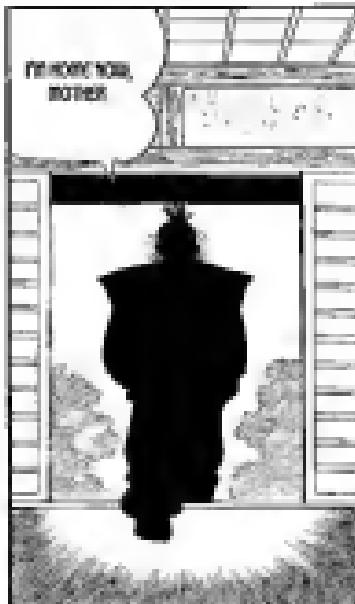


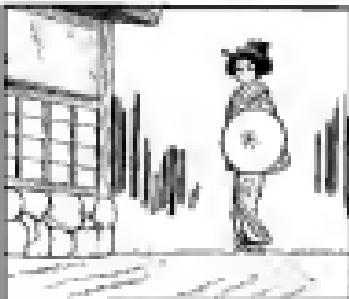
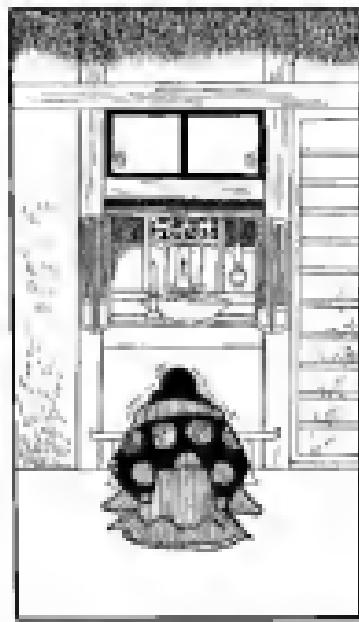


ILLUSTRATION BASED ON KENDAI MANGA I (PUBLISHED, OKINAWA SHOBOS), BY TOSHIKI KAGI, AND ISAO SHIMIZU.



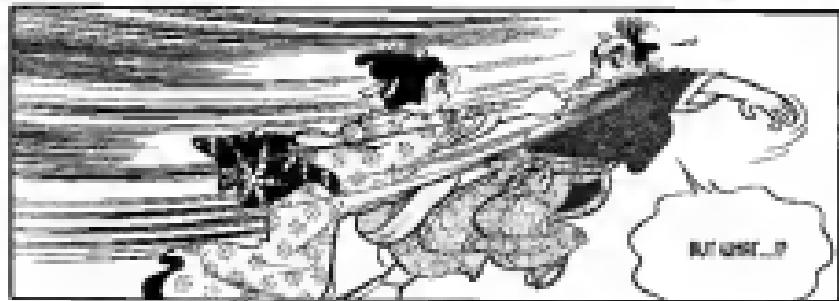








SPY - SPY

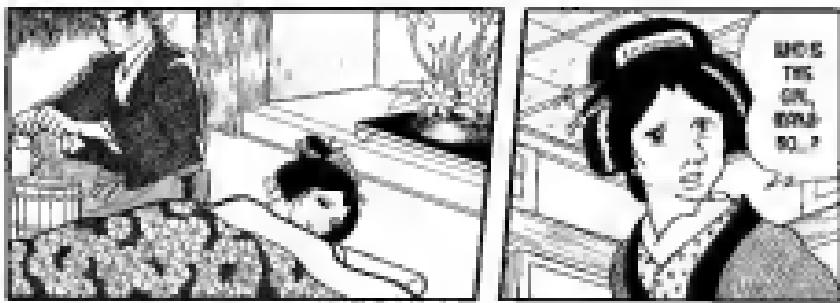
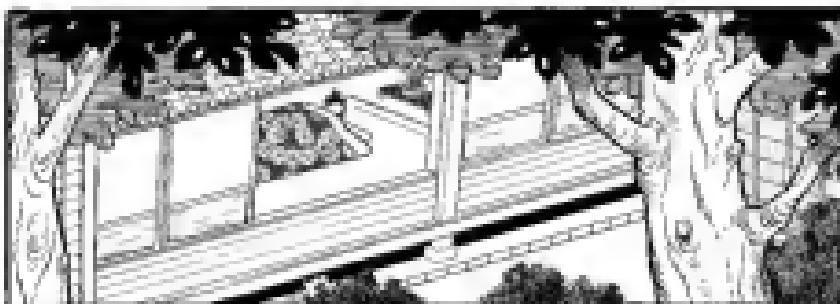




SEN - TING



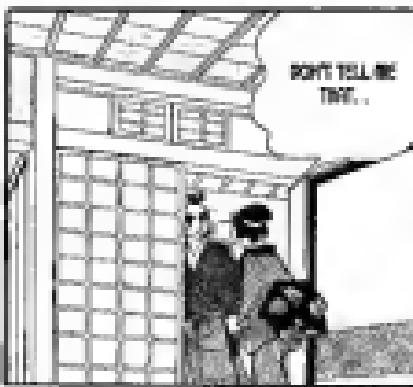


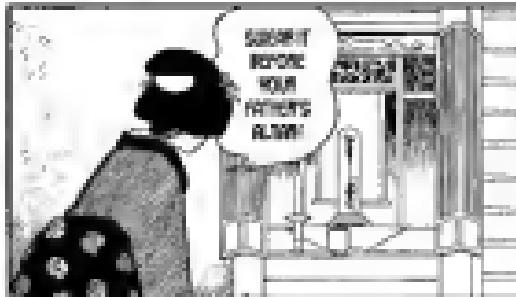
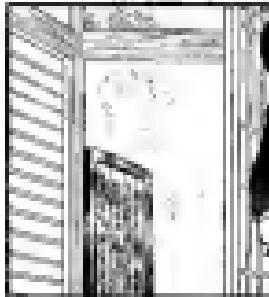
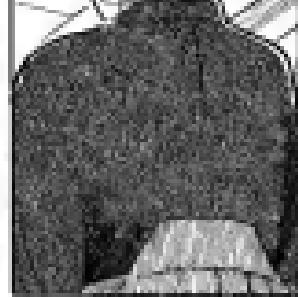
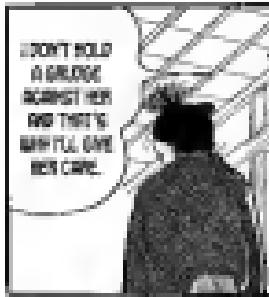






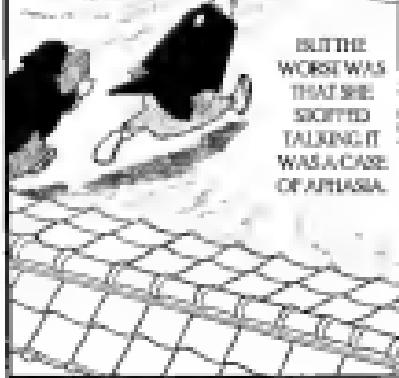
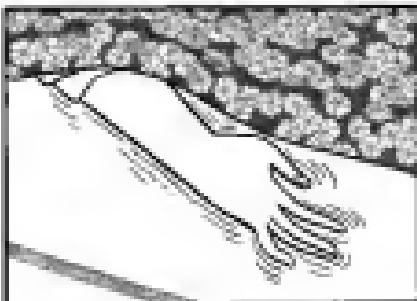






SHE BEGAN TO HAVE A FEW  
RECURRENT HEADACHE UNUSUALLY.  
THERE WAS A PROBLEM THAT IT  
INVOLVED SOME DAMAGE TO THE  
BRAIN.

HOWEVER, THIS  
CONDITION SUDDENLY  
CAME ON.



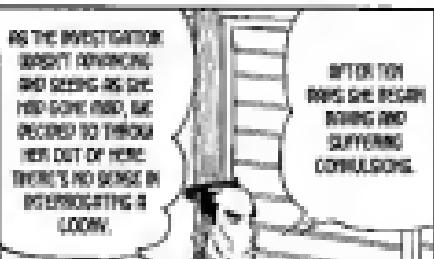
BUT THE  
WORST WAS  
THAT SHE  
SCIFTED  
TALKING IT  
WAS A CASE  
OF APRAXIA.





SIGN: HYOJOSHOU





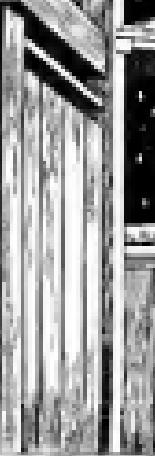
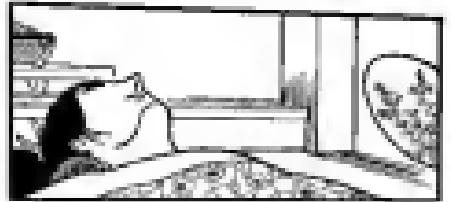


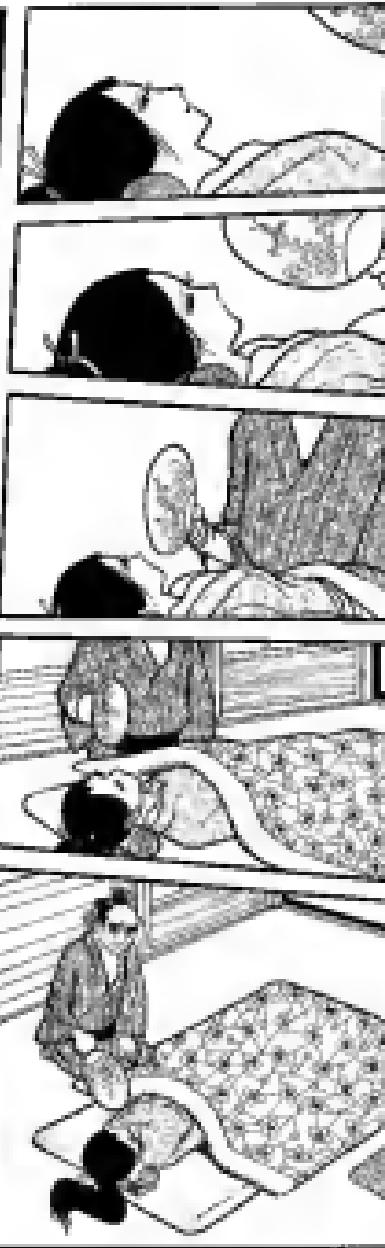
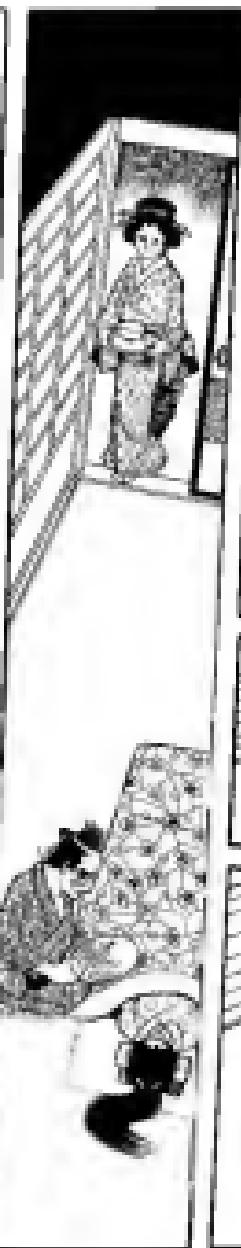


A NEW YEAR ARRIVED WINTER TURNED INTO SPRING AND THEN SUMMER BUT ATAYA WAS NEVERLY A HEATING DOLL.

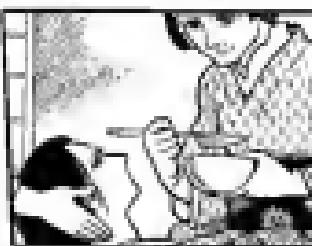
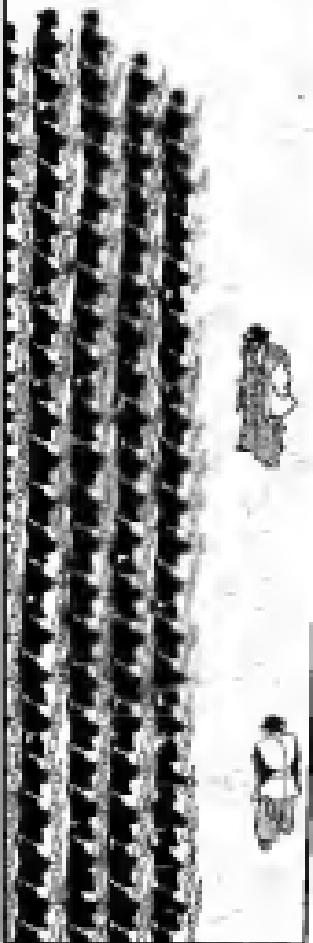


AT AIRCONDITION DENTIMPOUN THE SLIGHTEST.





DURING THAT TIME, FEUDALISM CONTINUED GOING THROUGH INTENSE CHANGES. IN REBELLION TO THE ORGANIZED REVOLTS IN KYOTO, THE BARBARIAN SENT A TEN-MAN SQUADRON AGAINST THE CHOSHU HAN, COMPOSED OF SOLDIERS OF THE SHIGURGI AND OTHER HANS.

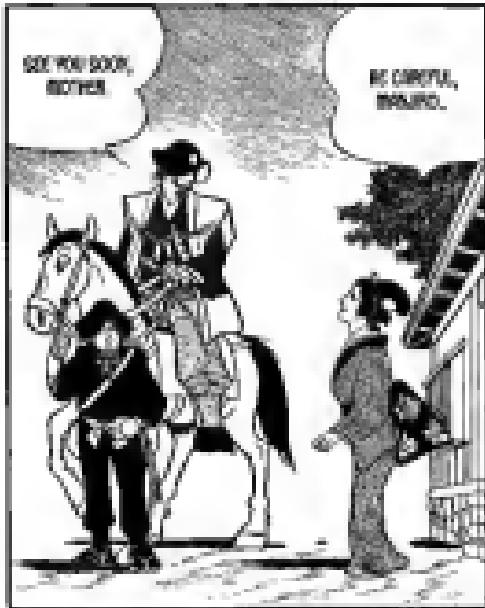


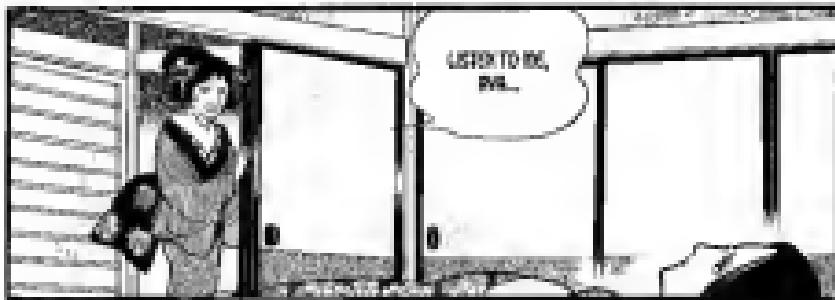
SHE WENT ON  
NOT SAYING A  
WORD. WITH A  
LOST, FAR-OUT  
LOOK IN HER  
EYES, HER LIPS  
WOULDN'T  
SHOW EVEN A  
TRACE OF A  
SMILE.

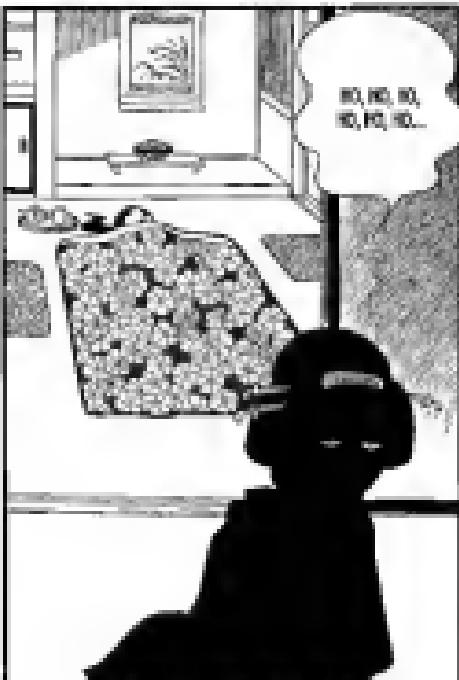
SIX -  
NINM











卷之三

あなたは、116「手塚治虫展覧会全集」を読んで、心の感想をお持ちにならました。

編集部では、この平塚先生の全集について、読者の方たちのご意見をお待ちしています。

の御見、疏後の感想を左記の通り次  
の如くお届け申す。」

前編 第二回

平成文庫叢書 103

明治三十一年正月廿二日

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

年  
諸

三

五歲——在陝西臨潼縣的乾山住過十天。

七  
一

一三十五·六朝詩之研究

昭和三十一年 十八歳 一元日から、モーリー作の四コママンガ「マクモランの冒險」の連載が「少年サンデー」の連載が始まり、これがモーリーの連載人生の始まりとなる。

の毎日小学新聞 大阪版』(「おおむち」)

昭和二十九年九月、酒井じゆくの原作の長編小説「アントガラント」が、『朝日文庫』として刊行。原題は『アントガラント』。

昭和二十五年二十九歳。保育園で子供たちを教訓して加藤泰貞と出会い、「サンクル大先生」を、海面少年に連絡開始。

二十一年一月三十日アトム大賞「青少年」に選出

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三十一

「の原実業處、商品を受け取つてアムステルダムの最初の仕事」

昭和二十四年 三十一號 一月、岡田悦子と結婚。 関内法務省代々木新吉に新居を購入。 フジタレセと園町義理で「秋

卷之三

昭和三十一年三月十一日、新潟市西区高木東町に家を新築。北村大氏と東映撮影「シンドバッドの冒險」の脚本に参画。

西幕三十六時 三十九回第一幕「廻船廻十番場にあひて御座候る者十箇席御用事」(あらみの御用事の御用) 一  
番下段左の者曰く「はい」(はい) 二番下段右の者曰く「八番御用事御用事」(御用事十一回) 三番下段  
本番下段左の者曰く「はい」(はい) 三番下段右の者曰く「はい」(はい) 四番下段左の者曰く「はい」(はい)  
五番下段右の者曰く「はい」(はい) 六番下段左の者曰く「はい」(はい) 七番下段右の者曰く「はい」(はい)

西幕三十七時

三十九回第一幕

一通の手紙を手に取る

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕三十八時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕三十九時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十一時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十二時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十三時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十四時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十五時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十六時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十七時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

西幕四十八時

三十九回第一幕

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

お出で

北新書店」、「アーティスト画廊」、「新星社」「みやみや大賞」等、その下に出版部、販売部、十人から五〇人ほどの編集部、『絵画アート』三編題字版等、出版社所蔵該会等の会員が複数「新刊セレクト大賞」選定一冊を、「日本トムヤマと新開賞受賞」、『西画寫眞の世界』「絵画賞」等の「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社十一年、四月——「アーティスト画廊のどなたが本年大賞トロフィーをもるかが知れぬ」

新星社十四年、四月——「アーティスト画廊」、「日本トムヤマ」公開、次回へ上、「西画」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社十五年、四月——「アーティスト画廊トヨタ美術館」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社十六年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社十七年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社十八年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社十九年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社二十年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社廿一年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社廿二年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社廿三年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社廿四年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

新星社廿五年、四月——「アーティスト画廊」、「日本・手稿子」、「圖書」、「新開賞十周年」、「新開賞」等の内審評会を開催する。

卷之三

「四十日間一ノア」を八九〇年當に西洋風トロウ、「ヨリカ」必圖「アホウ・シテ・ハ」ホンムツニテのトロウ

四九

「おお、それも理解していい。でも、お前はまだ、まだお前が何者か、何者でないか、まだわからぬ。お前はまだ、まだお前が何者か、何者でないか、まだわからぬ。」

昭和六十一春 四十九歳一月三十日「新居に引越す」  
昭和六十二春 四十九歳二月二日「新居に引越す」

中華書局影印  
——